

～がんの放射線治療Q&A～



川崎幸病院 副院長
放射線治療センター長 田中 良明



●放射線治療とは？

放射線は細胞分裂を活発に行う細胞ほど殺傷しやすい性質を持っています。このため、がん細胞は正常な細胞に比べて放射線の影響を受けやすく、一定の線量を小分けにして何回も照射することで、正常な細胞には影響を与えず、がん細胞を殺傷することができるのです。

【放射線治療の主な対象疾患】

●適応の高い疾患: 頭頸部腫瘍・乳がん・肺がん・食道がん・前立腺がん・転移性の骨腫瘍・脳腫瘍など

放射線治療のQ&A

Q. 治療には痛みや不快感を伴いますか？

A. 放射線治療を受けても、患部が熱くなったり痛くなったりすることはありません。不快感を覚えることもありません。但し、照射部に口腔・咽頭や食道が含まれている場合は、治療の途中から粘膜炎による違和感を覚えることがあります。その他、全身の疲れ感を自覚する場合がありますが、日常生活に影響することはありません。

Q. 治療にかかる時間はどれくらいですか？

A. 放射線治療をする部位や照射の数によって異なりますが、正味の照射時間は数分程度です。これに治療前の準備や位置合わせなどを含めても、治療室に入ってから退室するまでに要する時間は 10～20 分程度です。

Q. 治療は途中で休んだら効果がなくなるのですか？

A. 休んでも効果がなくなることはありませんが、放射線治療は平日に続けて照射するように計画が立てられています。できれば、予定通りに照射を続けることが望ましいです。休みが続いた場合は、その分を考慮して線量を調節することがあります。

Q. 効果はいつごろから出てくるのですか？

A. 対象となる病気の種類によって異なります。骨転移などでは多くの場合は、治療途中から痛みが和らぎますし、腫瘍で腫れているところがあれば治療途中から縮小することもあります。その他、臓器ごとに評価方法が異なりますので一概には言えません。血液検査で腫瘍マーカーの数値の変化で評価する場合があります。



※2013年3月～8月まで、川崎幸クリニックにて「前立腺がん早期発見運動」実施中!!

早期発見に有効なPSA検査を即日受け付けています。(費用: 期間内は 500 円) お問い合わせ・予約 : 044-511-2112